令和８年度兵庫地方最低賃金審議会

第３回兵庫県最低賃金専門部会

日時：令和８年７月30日(木) 10:00～
場所：兵庫労働局16階第３共用会議室

次　　第

１　開　会

２　議　題

（１）令和８年度中央最低賃金審議会会長メッセージについて

（２）兵庫県最低賃金の改正審議について

（３）その他

３　閉　会

第３回兵庫県最低賃金専門部会

資料

令和８年７月 30 日

兵庫労働局労働基準部賃金室

第３回兵庫県最低賃金専門部会

資　料　目　次

頁番号

資料１:2026 年度の最低賃金大幅引き上げについての要請書及び署名（3,447 筆）
の提出について（尼崎地区労働組合総連合）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

兵庫労働局

尼崎労働基準監督署　様

２０２６年度の最低賃金大幅引き上げについての要請書

２月２８日からのアメリカによるイラン攻撃（イラン戦争）は度重なる停戦合意の後も終わりなく戦争が続けられホルムズ海峡はイランとアメリカで封鎖状態が続き、今ではイエメンによる紅海のバブ・エル・マンデブ海峡の封鎖が「第２のホルムズ海峡」として世界的なエネルギー供給への影響が懸念されています。円安ドル高の経済で輸入コストが上昇し、原油価格高騰による物価上昇は私たちの生活に重くのしかかっています。２６春闘では前年を上回る単純平均９３１０円（３．３４％）の賃上げを勝ち取りましたが現在の物価上昇には追い付けない状況です。

私たちは、７時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

２０２５年度の兵庫県最低賃金は時給１１１６円とされましたが、単身者が人間らしい生活を送るために必要な水準には遠く及びません。兵庫県内で実施した最低生計費試算調査では、単身の若者が暮らしていくためには月額２５万円以上、時給換算で１７００円以上が必要です。最低賃金が地域ごとにバラバラであるため、地方では賃金水準が低いために労働力が周辺地域へ流出する「悪循環」が起きています。昨年、秋田県では中央最低賃金審議会目安の６４円（Ｃランク）を上回る８０円の引き上げを改訂しましたが、最賃が改定される発効日が秋田では３月３１日をはじめ大幅に遅らされる事態がおこりました。中央審議会で目安額が示された後に始まる地方の審議会で大幅な引き上げを議論しても、経営側の支払い能力との兼ね合いで発効日が遅らされるなどの問題については、政治の力で解決すべきです。

記

尼崎市民の思いである最低賃金大幅引き上げを、兵庫労働局と兵庫県最低賃金審議会に対して上申していただけますようお願いいたします。

２０２６年　７月　２４日

尼崎地区労働組合総連合
議長　藤　田　　照　　広







尼崎労連
最低賃金
引上げ署名

3447筆

兵庫県の最低賃金をいますぐ1700円に引き上げ、全国一律最低賃金制度、中小企業支援の拡充を求める要請書

2026年　月　日

兵庫労働局長　殿
兵庫地方最低賃金審議会会長　殿

請願趣旨

私たちは、7時間働けば人間らしいくらしができる最低賃金の水準の確立と全国一律最低賃金制度の実現を求めています。

2025年審議会は答申で、中小企業・小規模事業者が最低賃金を引き上げても円滑に企業運営を行えるように、現在の『業務改善助成金』制度をより充実させるとともに、労働者の処遇改善等を支援するその他の助成金についても、賃上げ加算等の拡充を行うことなどを厚労省の枠を超え「政府に強く要望」しています。

日本の最低賃金は2025年改定で「過去最高の引き上げ」となりました。しかし、私たちが取り組んできた最低生計費試算調査において、この間の物価高騰分を加味し再計算した結果、「単身の若者が暮らしていくのに必要な生計費は月額25万円以上・時間額1700円以上必要」に届かない低水準です。

本年の審議で、兵庫県の最低賃金を、直ちに1700円に引き上げ、地域間格差の解消に向けた決断を求めます。あわせて、地域経済の「好循環」を作り出す中小企業支援を抜本的に改善し拡充することも求めます。

請願項目

○兵庫地方の最低賃金を直ちに1,700円に引き上げること。
○全国一律最低賃金制度導入を上申すること。
○最低賃金の引き上げを円滑に実施するため、中小零細企業に直接支援を継続的に行うよう上申すること。

氏　名	住　所
[redacted]	

※この署名用紙は、関係行政庁への要請以外の目的に個人情報が利用されることは一切ありません

【取扱団体】兵庫県労働組合総連合・(国民春闘兵庫県共闘委員会)

最低賃金は

めざせ2000円

今すぐ全国一律1700円に





最低賃金は、最低賃金法という法律によって定められ強制力があります。2025年10月から、兵庫の最低賃金は1,116円。これを下回る賃金を定めた雇用契約書は無効です。

中小企業への直接支援を

中小企業が最低賃金を大幅に引き上げても、健全な経営ができるよう国の支援を拡充することが急務です。例えば諸外国でも実践されている社会保険料の事業主負担の免除・減額などを国や地方自治体に求めていきましょう。



最賃の地域間格差が一極集中招く

いま兵庫の最低賃金は1,116円。大阪は1,177円。神崎川を兵庫県側から渡るだけで、時間額が61円高くなります。東京は1,226円で兵庫とは110円もの開きがあります。これでは兵庫から大阪へ人・もの・カネが流れます。果ては東京へ一極集中し、兵庫の経済がますます停滞します。

直近の調査によれば、全国どこで生活しても生計費は大きく変わりません。兵庫県では、神戸市内で一人暮らしをする25歳青年の場合、時間額で女性は1,582円、男性は1,626円が必要です。今こそ、この最低生計費に合わせて時間額を1,700円以上へ引き上げ、全国一律最低賃金を求めましょう。

物価高騰に見合った賃金を

電気・ガスや食料品などの生活必需品の価格高騰が続いており、実質賃金は下がっています。いまこそ最低賃金を引き上げ、1日7時間働けば普通に暮らせる社会を実現しましょう。

兵庫労連（兵庫県労働組合総連合）／国民春闘兵庫県共闘委員会